

これから行きたい **環境のこと!** イベント情報!

ずしし環境会議企画

平成28年度かんきょう連続講演会

場所：市民交流センター2階 第2・3会議室

第一回 2月11日(土) 13:00~16:20

「自由化時代の賢い電気の選び方～あなたの選択が電気を変える～」

環境ジャーナリスト 小澤祥司さん

静岡県生まれ。田んぼと茶畑に囲まれた田園地帯で育つ。学生時代は海をフィールドに、現在は東京郊外の里山をフィールドに活動。執筆・研究テーマは、生物多様性保全、再生可能エネルギー、環境エネルギー政策、持続可能な地域社会、環境保全活動や企業の社会的責任（CSR）など。



第二回 2月18日(土) 13:00~14:30

「海と人と自然と～海を通して自分が出来ること～」

NPO法人ディスカバーブルー代表理事 水井涼太さん

横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター：特任教員
大学発ベンチャーとしてNPO設立。海の生物や環境の理解増進、行政と共に海の自然を活かした地域活性化を図る。専門は海洋生物学。博士(環境学)。



第三回 3月4日(土) 12:45~14:45

「生ごみは宝だ～生ごみを燃やさないで、おいしい野菜を～」

NPO法人 大地といのちの会 理事長 吉田俊道さん

長崎県生まれ。九州大学農学部大学院修士課程終了後、長崎県の農業開良普及委員に。96年県庁を辞め、有機農家として新規参入。99年佐世保市を拠点に「大地と命の会」を結成し、

全国で生ごみリサイクルと元気野菜作り、元気人間作りの旋風を巻き起こしている。

2007年同会は総務大臣表彰を受賞。

主な著書『生ごみ先生の元気野菜革命』『お野菜さんありがとう』など。



- *****
- ・「かんきょう連続講演会」へ参加される方は、当日講演会場へ直接お越しください（先着60名）。
 - ・「かんきょう連続講演会」は連続参加の必要はありません。
 - ・託児を希望する方（先着5名）は各回開催日の11日前までに、手話・要約を希望する方は9日前までに、環境管理課へご連絡ください。

☆お問い合わせ・ずしし環境会議への入会申込みは…

逗子市 環境都市部 環境管理課

電話：046-873-1111

(内 456, 457)

FAX：046-873-4520

E-mail：kankyo@city.zushi.kanagawa.jp

ニュースへのご意見もお待ちしております!



まちなみと緑の創造部会

当部会では、「逗子の自然環境を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

【自然観察会】

逗子の自然をもっと知ろう！

わたしたちは年に6～7回、逗子市内の各所において自然観察会を行っています。観察には毎回専門の先生方にお越しいただき解説も行っていきます。

★2016年観察会開催結果

- ・植物観察会（4月と10月）
- ・磯の観察会（7月）
- ・田越川さかな観察会（8月）
- ・こんちゅう観察会（8月と10月）



★観察会での生きもの観察記録

観察会で確認できた生きものは記録として残し蓄積していきます。これらは逗子に暮らす皆さんと収集した貴重なデータです。多くの方に活用、共有してもらえたらと考えています。

・7/3（日）磯の観察会

ハオコゼなど魚類7種、ヒライソガニなど節足（せっそく）動物15種、テツイロナマコなど棘皮（きょくひ）動物6種、ウミウシやマダコなど軟体動物12種、海藻22種が確認出来ました。



緑藻類（りよくそうるい）のモツレミルを初確認！！

・8/27（土）田越川さかな観察会

ヌマチチブなど魚類6種、モクズガニなど節足動物5種、カワニナなど軟体動物3種を確認。今回参加された小学生がカマキリ（アユカケ）を採集、初確認でした。横須賀市自然・人文博物館で11/3（木）～11/6（日）において行われた「自然誌研究成果展 2016」の中で研究発表されました。

タイトル：三浦半島から採集されたカマキリ（アユカケ）

未来に繋がる貴重な記録に！！

パネル展示の様子



【かんきょう連続講演会】



今回の講師は水井涼太さんです。解りやすいお話と人柄で大人気！

いきもの好きの男子・女の子集まれ！

2月18日（土）13：00～14：30

「海と人と自然と～海を通して自分が出来ること～」

いきもの好きがもっと活躍出来る場所を作りたいとの思いで相模湾を主なフィールドにし活動されています。今回はそんな水井先生のお話を交えながら自然と人との係わり方を「海」というテーマを通してお話しいたします。

～山と海に囲まれた逗子市は「自然と暮らし」を実感するにはぴったりの場所です。私たちの身近にある自然について、いま一度みんなで考えるきっかけにしてみませんか。～

ごみ問題部会

ごみ問題部会はごみの減量化・資源化をテーマに活動しています。

逗子ではもうおなじみの吉田俊道さんが来るよ。プランターで、生ごみで、おいしい元気野菜を作る方法を学ぼう!!



日時:3月4日(土)12:45~14:45

講師:吉田俊道さん

講師紹介:吉田さんは、生ごみリサイクルで野菜作りを実践し、全国的に普及活動をしていらっしゃる元

気なおじさまです。「野菜作りをやりたけれど、本を読んだだけではよくわからない」「土やタネなどの必要な資材はどうすればいいのかわからない」などの声に答えて、土いじりがはじめての人にもわかりやすいように、おもしろおかしくお話していただきます。燃やすごみの4割を占める生ごみを、土に埋めて分解するだけで、大地の微生物を増やし、その土で育てた野菜は、元気でおいしく、からだに必要なミネラルも沢山含まれ、命の循環の輪が広がります。しかも野菜を作るために、肥料の必要はなく、病害虫の被害も受けにくい野菜です。生ごみを燃やしてしまわず、プランターで手軽に野菜作りをする方法を学びましょう。生ごみを有効に分解させるために使うボカシ(米ヌカに微生物を繁殖させたもの)作りの実践も予定しています。



市民まつりのリユース食器利用の報告

今年度からリユース食器の利用については、市から使った経費の半額の補助金が出るようになりました。その結果でしょうか、今年の利用申込み数は昨年の2倍以上になったとのこと。それだけ容器ごみを減らそうという出店者が増えたということで、とてもうれしいです。



ただし、収支は赤字になってしまったとのこと。昨年度までも含め、赤字分は個人

の寄附でまかなってきたとのことですので、赤字解消に向けて協力して取り組んでいきます。

結果としては、「ごみ箱を置かないまつり」の実践は定着してきました。5万人以上の人の集まる祭りでは会場にごみをいっさい残さない行事の実践は逗子市民のほこりです。

神奈川県レジ袋削減実行委員会に参加して

昨年11月29日(火)に県のレジ袋削減委員会で逗子市のレジ袋削減の活動について発表しました。

本市では1997年「逗子市のごみ問題を考える市民連絡会」の発足以来20年近くもの長きにわたってこの活動を続けてきました。2001年にずしし環境会議ごみ問題部会を発足した後は、中心となって活動してきました。6月の環境ウィークスでは古傘からのエコバック作りの実演と市民のみなさまへの出来た製品の配布など10年以上地道に続けてきました。毎年2回はレジ袋削減キャンペーンを市内スーパーの店頭で行うなど、市民のみなさまへの啓発活動にも力を入れてきました。結果としてマイバッグ持参率は、県内他市町村に比べ2倍以上であることがわかりました。他の環境面も含めて、本市は環境先進都市との自負をいできて帰ってきました。これも市の環境保全推進活動を献身的にリードして下さった先人があってのたまものと思います。この築きあげられた諸活動をトーンダウンさせないよう引き継いでいかななくてはとの思いを強くしています。市民のみなさまにも、ひきつづいてご協力をお願いいたします。



知恵袋 —タマネギの皮で健康に—

タマネギの皮にはポリフェノールの一種のケルセチンなど健康維持に役立つ成分が豊富です。抗酸化作用があって、血液サラサラにも役立ちます。皮を捨てないで、スープや煮物などの中に一緒に入れるだけで、有効成分は摂れます。



煮出したものは捨てて下さい。

二酸化炭素削減部会

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素削減のための活動を続けています。

かんきょう連続講演会

「自由化時代の 賢い電気の選び方」への ご案内

講師 小澤 祥司 さん

「電力自由化で何がかわるか」の著者

日時 2月11日(土)

一部 13時 講演会

二部 15時15分 講師を囲んで意見交換会

場所 市民交流センター2階会議室

(入場無料、予約不要)

家庭向け電力の自由化が始まりました

今まで、家庭向け電力は、東京電力から定められた料金で購入する事が決められていました。

しかし、昨年4月からは、家庭向け電力も色々な電力会社(関東地区で50社以上)から選んで購入することができるようになりました。

しかし、せっかくのこの消費者の権利を有効に活用している家庭は、まだ少ないようです。

お宅の電力会社選びは進んでいますか？

次のような理由で、検討が進んでいないご家庭も多いようです。

- ・今のままで困っていない
- ・切り替え手続きは面倒では？
- ・切り替えると停電しないか？
- ・安くなるって本当？
- ・何を基準に考えたら良いのだろうか？



まだ電力会社を変えていないあなたに分かりやすく説明します。

- ・電力会社を選ぶ上で大切な事は、
- ・替えたら「電気の質は低下しないか」等の不安にお答え。
- ・自然エネルギーの電気を選ぶにはどうする。
- ・自由化で得をするのは誰か
- ・あなたの選択が電気を変える。



講師紹介 小澤 祥司さん

環境ジャーナリスト

生物多様性、再生可能エネルギー、持続可能なエネルギーをテーマに執筆活動。

著書に「電力自由化で何がかわるか」「エネルギーを選びなおす」「水素社会はなぜ問題か」「メダカの消える日」「飯館村6000人が美しい村を追われた」など多数。

以前から福島県飯館村と交流。原発事故後も、放射能調査、村民支援活動を継続。

☆二酸化炭素削減のお願い☆

「パリ協定」が発効しました

今世紀末の温度上昇2℃未満を目指して、昨年11月に「パリ協定」が発効しました。これにより、世界は今世紀末までに、温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことになりました。



日本においても、2030年には2013年比26%削減(家庭部門は40%削減)を目指します。

しかし、40%削減ともなると、節電に加えて、二酸化炭素の少ないエネルギー源への切り替えも必要です。(備考 日本の温室効果ガスの90%以上は二酸化炭素です)

二酸化炭素削減と電力

平均的家庭の二酸化炭素排出量の約半分は電気由来です。従って、二酸化炭素排出量の少ない電力への切り替えは大幅削減につながります。

その意味では、電力自由化は、お宅の二酸化炭素削減のチャンスでもあります。

長期にわたり削減効果が期待できて環境にも優しい電力を選ぶことをお勧めします。

STOP!温暖化

